「平和と人権」市民ネットワーク情報　N010

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　2016.11/25

市民ネット設立一周年に向けて

◆「市民ネットワーク」は今年 1 月 16 日に作られました。辺野古基地問題を描いた「戦場ぬ止み」上映終了後、同じ会場で発足会を開きました。この時点での賛同者数は、呼びかけ人の方も含めて 50 名ほどでした。海図が無いままの船出で、試行錯誤しながら歩んできました。皆様のおかげで、10 か月後の現在、賛同者数は **104 名**に達しました。

　年が明けると設立一周年を迎えます。事務局では、この機会に二つの企画をしました。

▲一つは、賛同者に**アンケート**を送って賛同の意志を確認することです。市民ネットは一年単位で登録を更新しているわけではありません。が、時がたつとその時点で賛同されているかどうかが曖昧になります。そこで、2017 年度も継続して賛同者になっていただけるかどうかを確認することにしました。合わせて、市民ネットワークのこれまでと今後の活動について要望や意見も伺いたいと考えています。アンケート用紙は次号の「市民ネット情報」に添付してお送りします。ご協力をお願いします。

▲もう一つは**一周年イベント**の企画です。といっても、「総会」に準ずるような報告を中心にしたささやかな会です。先月号でお知らせした「高江・写真パネル展」と映画「高江―森が泣いている」上映会は、「デュオ」の了解が得られず実施できないことになりました。そこで、代わりに一周年イベントの中で、この二つの資料を公開したいと考えました。むしろ、資料公開のためにイベントを企画した、というのが正直なところです。会のもう一つの主眼は来場者が意見交換し、**“しゃべり場”**を作ることです。聞くだけでなく、話す場にしたい。

　要領は以下の通りです。(詳しくは同封のチラシ(or 添付ファイル)をご覧ください。)

・日　時…2017 年 1 月 15 日(日)、13:30 開場、14:00 開会
・場　所…「ひぐらし会館」第 1 会議室
・参加費…無料　(賛同者になっていない方でも来場できます)

※イベント名の**「百人の一歩を」**というのは、賛同者が 104 名になったことにちなんで付けました。一人一人のわずかな一歩でも、100 人集まれば大きな力となる、という思いを込めました。一人の百歩より百人の一歩を、という意味合いです。

フクシマを忘れるな

◆11 月 23 日、観光会館で「希望の牧場」経営者の吉澤正巳さんの講演がありました。講演会を主催した実行委員のお一人、重岡秀子さんに会の様子を報告していただきました。

フクシマを忘れるな「被ばく牛３００頭とともに原発時代を乗り越える」に参加して

重岡　秀子

９月に伊豆の国市で「フクシマをわすれるな」という講演会があり、そこで「希望の牧場」の吉澤さんを伊豆半島・伊東に呼べないかという提案があり、今回は実行委員の一人として関わることになった。

吉澤さんは牧場の牛飼いであったが、被爆牛の殺処分命令に従わず、牧場を原発被害の象徴として残し、国や東電に直接抗議をしながら、全国にこの「棄民（きみん）政治」を告発するための「語り部」になる道を選んだ。そうした彼の生き方がひしひしと伝わってくる講演会であった。

東日本大震災・原発事故から５年８ヶ月。おびただしい数の除染した土などの袋が野積みされたまま放置され、吉澤さんの住む浪江町でも２万人いた町民のうち、帰ってくるのは高齢者のみ１０００人位ではないか・・その人たちも暮らしができず、やがて廃墟になると訴えていた。

生き残った牛たちにも皮膚に白い袢纏が表れるなど、放射能の影響による色素の異常と考えられる。また子どもたちの甲状腺癌の発症なども続いているが、これも病院や大学などの研究者の口が封じられ報道されないということも大きな問題である。

先日、視察で石巻市を訪問したが、津波被害のひどい海岸線は一般住宅の建設が禁止となり、市が個人の土地をほぼ買い上げたということであった。しかし、浪江町などの放射能汚染地域は除染だけで土地への保障は出ない・・他県に移住した人も多く、町民はちりぢり・・国や東電は原発被害の風化を待って、この重大問題を葬り去ろうとしているのではないか。そして、やはり当事者でない私も、「フクシマ」への問題意識が薄れがちではなかったか・・。あらためて原発問題は日本の政治が抱える最も大きな課題であり、目をそらすことはできないと強く感じた。

参加者は約１１０名。会場で**６万円あまりのカンパ**があり、会場費や宿泊費、事務経費なども除き、吉澤さんには９万円の資金カンパを渡すことができた。市民ネットワークには主に広報の協力をしていただき、大変ありがたかった。

11 月 20 日、ひまわり集会

浜岡原発は世界一危険

静岡 再稼働反対集会に3000人

静岡市葵（あおい）区で20日、中部電力浜岡原発（静岡県御前崎市）の再稼働を許さない「ひまわり集会」（実行委員会主催）が開催され、3000人が参加しました。

集会で、実行委員長の林克・県評議長は、中電が規制委員会の審査で認めた浜岡原発敷地周辺の活断層により、熊本地震のような地震の可能性まで出てきたと指摘し「南海トラフ巨大地震の震源域の真上に立つ、世界一危険な原発の再稼働を

「浜岡原発再稼働反対」などと訴えパレードする集会参加者たち＝20日、静岡市葵区

（ひまわり集会を報じる 11 月 21 日付の「赤旗」）

◆11 月 20 日(日)、静岡市駿府公園内で、浜岡原発の再稼働に反対する集会=「ひまわり集会」が開かれました。伊東からバス一台をチャーターし朝 9 時に出発。車内は満席。自家用車で駆け付けた人も含めて、総勢 58 人が参加しました。紅葉した樹木の下で弁当を広げる人、旧知の人と歓談する人、ビラ配りに励む人、などなど。ざわざわした会場はフクシマの被災者が登壇したとき シーンと静まり返りました。スピーチの後、市内の目抜き通りをデモ行進。うららかな日曜日の午後とあって、たくさんの人が通りに出ていました。デモ隊はコールの音頭に合わせて「浜岡原発再稼働、絶対反対」「自然を守れ」「静岡を守れ」などと叫びながら。駅前まで 40 分ほどかけて行進しました。

集会アピール―抜粋―

中部電力は 9 月末に 4 号機の安全対策を終了させる予定でしたが、規制委員会の審査の中で浜岡原発の敷地の直近に A17 号という活断層があることを認め、(安全対策を)延期せざるを得ませんでした。…これまで言われた巨大プレート型の地震の揺れだけでなく、熊本地震のような活断層型の激しい揺れに見舞われる可能性が出てきました。

文字通り世界一危険な浜岡原発は、絶対再稼働を許してはなりません。

不真島第一原発事故から 3 年以上経過した現在でも、9 万もの人々が故郷、わが家を追われて避難しています。これは世界一危険な浜岡原発を持つ静岡県民にとって決して他人事ではありません。もし浜岡原発で事故があれば、原発から 50 キロに 214 万人が住むこの地域の被害は、この比ではありません。そして何よりもここに住む人々の人生を狂わせます。被ばくを前提とした避難計画では安全な避難はできません。

人々の生ける権利を奪う浜岡原発は、ぜったい再稼働を許してはなりません。

直近のイベント案内

保養ステイ写真展のお知らせ

木々が色づき、さわやかな秋の季節になりました。

夏の「ふくしまの子ども保養ステイ」では、大変お世話になり、ありがとうございました。

その時の子どもたちの写真と絵日記などを展示し、子どもたちの生の声を皆様にお伝えしようと、「写真展」を企画いたしました。生き生きと真剣に遊ぶ子どもたちの姿から励ましと元気をもらえることと思います。どうぞ周りの方をお誘い合わせの上、おいでください。

期間…１１月２８日（月）～２９日（火）
場所…アピタ　１階　広場

子どもたちを放射能から守る伊豆の会
安部川てつこ
413-0235　伊東市大室高原 2-554
TEL 0557-51-1335

インターネット・メディア視聴会の案内

◆日時…2016 年 11 月 29 日（火）午前 9 時半～12 時（開場 9 時）
◆場所…八幡野コミュニティセンター　３階小会議室（会場費 500 円は割り勘で）
（伊東市八幡野 1189-172　Tel. 0557-53-1177）
（連絡先　大久保伸子　goron.key@gmail.com）
◆視聴番組…ムルロアから愛をこめて（Greetings from Mururoa）（52 分）

「標的の村」上映会の案内

三上智恵監督作品「標的の村」上映会があります。8 月 6 日の伊東での上映会に参加できなかった方は、もう一度チャンスが巡ってきました。場所は韮山の時代劇場です。要綱は以下の通りです。詳しくは同封(or 添付)のチラシをご覧になってください。

・日時…2016 年 12 月 17 日(土)　1 回目上映 14:00 受付、14:30 開会
　　2 回目上映 18:10 受付、18:40 開会
・会場…韮山時代劇場 映像ホール（託児場あり、要予約）
・参加費…前売券 500 円、当日券 800 円
・連絡先…℡ 090-1832-8878（浅羽）